

# 西要寺だより

第111号 令和5年11月8日



久しぶりの「西要寺だより」です。まず、お盆の法要のこと、報恩講法要のご報告をします。

## ●盂蘭盆会法要の報告

8月13日14日の両日、盂蘭盆会法要をお勤めしました。今年は酷暑となりました。そのような暑いなか、お参りくださり誠にありがとうございました。午前11時より『仏説阿弥陀経』を参詣者の皆さまと一緒に勤めし、その後、住職が永代経の話、月参り、中陰参り、聴聞の大切さについてなどの話をさせていただきました。

なお、15日は台風接近のため、法要を中止とさせていただきました。15日にご参詣の予定をされていた門徒さん、実際に門前まで来られていた門徒さん、申し訳ございませんでした。ただ、天候状態が悪くなることが予想されていたので、ご理解のほど、お願いいたします。



## ●報恩講法要をお勤めしました

10月22日23日の両日、天気にも恵まれたなか、報恩講法要をお勤めしました。今年は久しぶりに近隣の住職方にもお勤めに来ていただきました。

午後2時からお勤めで、午後2時40分頃からご法話でした。先生は



相愛大学准教授の佐々木隆晃先生でした。

報恩講法要とは、浄土真宗の教えをいただく私たちにとって、一番大切にすべき法要です。浄土真宗のみ教えを明らかにして下さった親鸞聖人を思いつつ、聖人のご生涯やみ教えを通して、我が身を見つめ直し、自らの人生を捉え直していくのが報恩講法要です。

お釈迦さまは生老病死の四苦を説かれました。老いるとは、今まで出来ていたことが出来なくなったりと、つらいこともあります。いままで若い時には分からなかったことにも気づいていくことができます。階段を上がることはだんだんとつらくなってきますが、手すりの有り難さを知ることができるというように。



また、かかりたくなくても病気もして、若い時と違って治るスピードも鈍行になります。しかしながら、病気をして健康の有り難さを知り、周りの方から励ましの言葉をかけてもらい周りの人の有り難さを知り、また病気のつらさがわかることによって人に優しくなれます。

先生の話を通して、報恩講とは「恩」に報いる法要、人やモノなどの有り難さをあらためて見つめ直す法要なんだな、と思いました。

コロナウイルス感染対策といって不自由な生活の経験を通して、今まで当たり前と思っていたことが実は有り難いことだったと言ってきました。しかしながら、喉元過ぎれば熱さ忘れる、と言われるようにしばらく経つと忘れてしまいます。したがって、報恩講ということであらためて「恩」ということを再確認していくことが大事になってきます。

法要に際しまして、役員さんには法要の準備と後片付けをしていただきました。心から感謝しております。ありがとうございました。また、今後とも宜しく願います。

## ●お聴聞の大切さ

家ではちゃんとお仏壇に手を合わせていますから、と言われます。それはそれで素晴らしいことで、家で手を合わさない方は是非、見習ってほしいのですが、何に手を合わせているか、となるとどうでしょうか。いやいや、阿弥陀さまに手を合わせて、ご先祖に感謝しています、と言

われることでしょう。

しかしながら、阿弥陀さまのはたらき、慈悲のところに触れていくことが大切なことです。特に浄土真宗では、お聴聞を大切にしています。仏さまの教えを聞いていくということは、仏さまのところに触れていただくことです。仏さまのところに触れ続けていただくと、仏さまのお慈悲に満ちていることが知らされるのです。大事な方を亡くされて絶望・悲哀・孤独を感じているこの私が、仏さまの慈悲に包まれていることに気づかされるのです。お経を読んでも意味がわからん、という方も是非、仏さまのところに触れていただきたく存じます。はじめは難しい内容だな、と感じることもあるかもしれません。しかしながら、だんだんとなんか有り難いな、と感じてくると思います。



阿弥陀さまのところに触れていただき、ともに感謝の生活を送らせていただきます。毎月22日午後2時より定例法座をお勤めしております。

### ●法要・法座の内容につきまして

先ほどの話に関連しまして、仏教の話のなか、どのような内容のことを聞きたいかということも言っていただきたく思います。たとえば、仏像の話、仏教の歴史の話、親鸞聖人の生涯などお軸に書かれた話、初心者でもわかる浄土真宗の話、家庭の仏事の話・・・

来年度はどのようにすればいいか、と考え中ですので、是非、お声を聞かせてください。

### ●法要・法座の最後に質問時間をつくりました

法要や法座ではただ聞くだけではなく、聞いた話の感想や質問をしていただく時間も設けるようにしています。どのような話でも私（住職）がフォローしますので積極的に発言していただけたら、と思います。このころの中にある“もやもや”を言葉に出していただくことによって、法要や法座に参加した、という充実感をもっていただきたく思っています。ただし、その発言内容のプライベートなことにつきましては、法要や法

座の外に持ち出さないことを守っていただきたいです。

◎今後の西要寺行事予定◎

※いずれも西要寺本堂にて開催します。

【定例法座】

11月22日(水) 午後2時より(終了予定:4時過ぎ)

兵庫教区の青年僧侶会の人に来ていただいて、  
雅楽の演奏、仏教の話をさせていただきます。

【定例法座】

12月22日(金) 午後2時より(終了予定:4時過ぎ)

講師:林 龍樹師(浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手)

【新年会】

1月13日(土) 12時より

西要寺一道会の主催ですが、会員でない方も参加していただけます。  
参加希望される方は、お申し出ください。

【定例法座】

2月22日(木) 午後2時より(終了予定:4時過ぎ)

※西要寺住職が話をします。

ホームページ (saiyouji.com)



または <sup>さいようじ</sup>西要寺 と検索ください。

浄土真宗本願寺派 <sup>さいようじ</sup>西要寺

661-0024 尼崎市三反田町1-7-27

TEL 06-6429-8241